

郵政民営化委員会（第252回）議事要旨

日 時：令和4年9月16日（金）13:35～14:56

場 所：w e b形式にて開催

出席者：山内委員長、関口委員長代理、青野委員、佐藤委員、関委員
（敬称略）

日本郵政株式会社 大角DX推進室長

日本郵便株式会社 五味執行役員ロジスティクス事業部長、
坂東執行役員、困経営企画部担当部長

総務省 景山情報流通行政局郵政行政部郵便課長

1. 議事

- ・郵便局ネットワークの現状及び付加価値向上に向けた取組状況
- ・「郵便局データの活用とプライバシー保護の在り方に関する検討会」報告書について

2. 委員会での説明・意見等

○ 郵便局ネットワークの現状及び付加価値向上に向けた取組状況について

① 資料に基づき事務局及び日本郵便より説明。【資料252-1-1～2】

② 委員からの意見等

- ・ 一時閉鎖中の簡易郵便局の再開について、U I J ターンの人たちが郵便局長として地方に戻れるというのは良い受け皿になると思う。簡易郵便局は、運営を工夫して様々な事業をやっても良いという魅力を、地方創生で地域に入りたい若い方に対して、しっかりアナウンスメントいただきたい。また、募集の情報についても、プレスを含め、現在は移住や定住の雑誌もたくさんあるため、情報提供いただくと良いのではないか。

（⇒ （日本郵便） 簡易郵便局は、営業時間等、運営の工夫はしやすい制度となっている。募集については、若い方にも伝わるよう、若い受託者の方が出演するビデオを作成して地公体にアピールする活動をしている。募集の情報については、ウェブサイトに掲載しているところだが、情報の露出の仕方を含め、検討したい。）

○ 「郵便局データの活用とプライバシー保護の在り方に関する検討会」報告書について

① 資料に基づき総務省より説明。【資料 252-2】

② 委員からの意見等

- ・ 地方創生において空家が大きな課題となっているが、郵便局が持っているデータは今後大きな事業として展開できるのではないかと考えている、例えば、空家の数が把握出来れば対策が出来る。

（⇒ （日本郵便） 空き家情報については、今後役立つ可能性があると考えており、^{あてどころ}宛所がアクティブか非アクティブかを自治体提供するなど、いくつかやり方はあると考えている。）

－以上－

注）議事要旨は事後修正の可能性があるのでに御留意ください。また、詳細については追って公表される議事録を御覧ください。